

Hi! アンドレです

社会教育指導員
アンドレ・エスタニスラオ

私は小野中学校の卒業式に出席したあとすぐにこの記事を書いています。まず始めに、卒業生の皆さんおめでとうございます！私は皆さんの高校生活、そして将来の生活が満足のいくものになると信じています！がんばってください！

寒い天候にもかかわらず、卒業式は私のような外国人にとってすばらしく、とても興味深いものでした。私が学校に到着し職員室に入ったとき、先生方が美しい服を着ているのを見ました。私は特に女性の先生方が着ていた‘袴’に感銘を受けました。先生方は本当に綺麗でした！スーツを着て白いネクタイを身につけている男性の先生方も、とてもハンサムでした。私は先生方と両親が生徒と子どもたちの成功を誇りに思っていることを確信しました。

私が式のリハーサルに出席した時とても真剣な様子を見ていましたが、実際の式はそれ以上に真剣なものでした。教育長、町の議会議員、助役、PTAの役員、当然ながら卒業生の両親のように重要な人々がそこにいました。ステージの上、テーブルの上の花が体育館を美しい会場に変化させていました。

全ての1、2年生は椅子に丁寧に座り、卒業生の入場を待っていました。卒業生はとても幸せそうで、中学校を卒業したことを誇りに思っているように見えました。

卒業式の中で最も感動した部分は、卒業生そして1、2年生がお互いに歌を歌った場面でした。2、3年生が‘先輩’の姿に感激しているのを見て私は感動しました。そ

して卒業生が感動して泣いている姿を見て、さらに感動してしまいました。

私の日本語が十分でないので、スピーチの大部分を理解することができませんでした。しかしながら私は、スピーチで述べられたことのいくつかを理解することができました。話し手のほとんどが「お互いにさよならを言う時が来ました。皆それぞれの道を歩むけれど、小野中学校そしてここでの思い出をいつも思い出してください」と言っていました。フィリピンには‘初めの一步を忘れた人は、決してゴールにたどりつかない’（‘初心忘るべからず’）という格言があります。話し手の人たちが「どこにいても感謝の気持ちを忘れてはいけない」と述べた事は正しいと思います。校長先生は‘dreams come true’を引用してスピーチを終えました。彼は夢が小さくても大きくても、根気強く、一生懸命努力をして実現してくださいと述べました。私は卒業生に、この言葉をいつも思い出し夢に向かってがんばってほしいと思います。

今回卒業式に私を招待してくださった小野中学校の先生方に感謝しています。小野町の全学校の卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。がんばってください！



小野中学校の先生と

ふるよと小野町会 ふれあい通信

母の味故郷の味

郡司 百子

(吉野辺出身)

今冬は雪が多く厳しい寒さでしたが、小野町の山里に桜は咲き始めたでしょうか。47年前上京し上野の桜を見た時、ふる里で咲いていた桜と、上野の桜の色の違いを知り、不思議に思った記憶が甦りました。

3歳で旧満洲より帰国し、上京するまでの15年間過ごしたふる里よりも、3倍以上の年月を東京の地で暮らしておりますが、子ども時代暮らした地で食した味覚は、私のみではなく他の方々も生涯覚えていた事を最近強く感じています。

現在、97歳を最高に7名の高齢者の方へ食事作りをしています。出身が地方からの方には、その土地の献立を多く作っています。久しぶりの味、母親を想い出す味、この煮物は懐かしい等訪問を心待ちしてくれる皆さんの口から語られます。

九州、北陸、東北と出身各地の味は異なるが、どなたも子ども時代に食べた味は、しっかりと覚えております。
我々子どもの頃は、弁当屋もコ

ンビニもなく、母親の食事で成長しました。

最近の傾向として、子ども達への食育問題がマスコミに載っておりますが、古くから言われている「おふくろの味、〇〇家の味」この言葉はもう死語になったのでしょうか。我が家に韓国の学生が滞在していました。韓国の学生が滞在中に、自国の料理をご馳走してくれました。彼女曰く「韓国は親から代々教えられた味があり、各家庭で少しずつ違います。今日の味はオンマ(ママ)から伝わった味です。」ちなみに、横で旺盛な食べっぷりの末娘、時々外国へ行っているが、ホームステイ先で「我が家の味、日本の味」を果して披露しているのだろうか？

食育問題は、確実に当家にも迫っております。レストランの料理よりも、田舎風煮物や汁物を好み、美味しいと感じる年齢になりました。と同時に伝えた味が消えることに、一抹の淋しさを感じております。



韓国の学生さん(オンジさん20歳)の帰国を前に